

会議概要

【開催概要】

名称 2015年度 第1回新潟市政策改革本部会議
日時 2015年5月13日(水) 午後1時30分から
会場 市役所本館5階 全員協議会室
出席者 本部長(市長)、副本部長(副市長)、本部員(庁議構成員など)

【会議概要】

2014年度／2015年度プロジェクトについて

(1) スマホ、タブレット時代の行政サービスのあり方(m-ガバメント戦略)

- ・2014年9月にタスクフォースチームを結成し、アプリ開発、オープンデータの公開、アプリ(モバイル)産業育成の推進を図った。

【成果】

- ・アプリについては、「ごみ」、「防災」、「子育て」分野において事業実施につながった。
- ・オープンデータについては、平成26年12月4日より「新潟市オープンデータサイト」を開設した。(機械判読に適した「CSV形式」で公開)
- ・アプリ産業育成については、平成26年3月に、アプリ開発イベント『“がたまる”アイデアソン&ハッカソン』を開催した。

ー新潟市アプリの公開ー

- ・ [ごみ情報総合アプリ](#) (廃棄物政策課/2015年3月17日公開)
- ・ [防災アプリ](#) (危機対策課/2015年3月17日公開)

ーオープンデーター

- ・ オープンデータの公開(2014年12月4日公開)
- ・ 公開データ(統計情報、手続情報、地理情報、画像・イラスト)

ーアプリ産業育成ー

- ・ [アイデアソン開催](#) (企業立地課/2015年3月1日実施)
- ・ [ハッカソン開催](#) (企業立地課/2015年3月14日実施)

【今後の進め方・体制】

- ・なお、政策改革本部事務局が担っていた「m-ガバメント戦略」庁内とりまとめをIT推進課へ引き継ぎ、これまでの取組成果も活用して「啓発・情報提供」「公開・維持管理」「産官学連携」を促進していく。

[アプリ開発事業体制]

H27年度よりIT推進課にサポート担当者を2名配置し、既存の「ICT調達支援」体制と共に、担当課によるアプリ公開をサポートする。

[オープンデータ推進体制]

IT推進課を事務局としてTFを当面継続し、全庁的な体制によってデータ公開・点検などを行い、さらに推進していく。

(2) 2014年度 利用者起点に立った各区の複合施設のあり方／ 2015年度 利用者起点に立った公共施設のあり方

- ・2014年11月に、副市長をリーダー、各副区長をメンバーとするタスクフォース（TF）を設置し、利用者起点に立って、市内複合施設40施設を対象にサービス改善を行った。

【成果】

- ・東区役所におけるケーススタディをベースに、点検の視点をチェックリスト化（57項目）し、サービス改善を行う一連の流れを基本スキームとして確立した。
- ・市内複合施設74施設のうち40施設を点検した結果、計358件の問題点が見つかった。特に「案内看板」、「アクセス」、「ビラ・チラシ・ポスター」の項目で問題点が多かった。
- ・見つかった358件の問題点のうち、約9割が今年度中に改善される見込みとなっている。

【今後の進め方】

- ・各区複合施設のサービス改善を行う中で、複合施設特有の問題だけでなく、公共施設全体に関わる問題点も多く見つかった。
- ・市民が公共施設を快適に利用できるように、2015年度は対象を複合施設から単独施設を含む公共施設全体に拡大し、4つの視点から公共施設の有効活用法を検討していく。

- (1) 子ども関連施設
- (2) 図書館関連施設
- (3) 公共施設の点検
- (4) 施設予約の改善

(3) 超高齢化時代に向けた医療・介護連携と市役所の役割

- ・2014年度は、福祉部長をリーダーとするタスクフォースを設置して、市民の健康寿命の延伸を最大目標として、分析・評価と事業実施に向けた取り組みを行った。

【成果】

- ・月1回のタスクフォース会議のほか、先進地調査を中心とする調査・分析を実施し、地域的な課題と全市的な課題があることがわかった。
- ・地域的な課題に対しては、西蒲区と南区を対象として、集団健診や保健指導を考えていく重点区プロジェクトを立ち上げた。

【今後の進め方・体制】

- ・市医師会との調整などより具体的に検討を進めていくため、新たに保健衛生部長をタスクフォースリーダーとする。
- ・2014年度に立ち上げた「重点区プロジェクト（西蒲区・南区）」と、受診しやすい受診券の改良や胃がんリスクの低減を目的とするピロリ菌検査導入の検討などを行う「全市プロジェクト」の2つを推進する。